



活動の場所

和泉葛城山ブナ林（岸和田市、貝塚市）
三草山ゼフィルス（能勢町）
地黄湿地（能勢町）



自然観察会の風景

活動目的

大阪府内の貴重な自然環境や私たちの生活を支える生物多様性の恵みを守り育て、次世代に引き継ぐことを目的に活動を行っています。

活動内容

国の天然記念物に指定されている「和泉葛城山ブナ林」、国内に生息するゼフィルス（シジミチョウ類の蝶の愛称）25種のうち10種が生息する「三草山ゼフィルスの森」、生物多様性の宝庫である貴重な滲水湿地「地黄湿地」において、それぞれ学識経験者・ボランティア団体・地元団体・行政等からなる検討委員会を組織し、動植物のモニタリングなど各種調査結果に基づいて保全活動の方向性や具体的な作業内容を決定し、関係者が連携して計画的に保全活動を行っています。

和泉葛城山ブナ林(岸和田市・貝塚市) 【国天然記念物】

大阪府貝塚市・岸和田市と和歌山県との府県境付近に位置します。太平洋側の、ブナ分布の南限圏に近い場所でのこのようなブナ林が存続することに大きな価値があるとして、1923（大正12）年に国の天然記念物に指定されました。



ブナ

三草山ゼフィルスの森（能勢町） 【大阪府緑地環境保全地域】

大阪府能勢町と兵庫県猪名川町の府県境に位置する、ナラガシワやクヌギ・コナラなどの落葉広葉樹を主体とした約15haのエリアです。ゼフィルスのなかでもヒロオビミドリシジミにとっては府内唯一の生息地であり、国内の分布の東限にあたります。



ヒロオビミドリシジミ

地黄湿地（能勢町）

【大阪府緑地環境保全地域】

能勢町の山間部にある、面積1haに満たない、府内唯一の滲水（しんすい）湿地です。サギソウ、トキソウ、ハッチョウトンボやモリアオガエルなど、府内でも生息地が限られた湿地特有の希少な生きものが見られる、生物多様性ホットスポットです。



サギソウ

PRしたいポイント

上記の3つの保全活動に加えて、以下の取り組みを進めています。

- 大阪府内の里山保全活動団体の情報サイト「大阪里山ネットワーク」を運営し、保全活動の活性化を支援
- 自然環境保全に関心のある企業に対して、行政や他団体と連携し、活動の提案や活動時の支援を実施
- 未来を担う子どもたちに向け、森林環境教育や森林ESDの実践、学校等への助成事業や普及啓発活動を実施

活動効果、今後の展開 等

- 長期にわたる継続的な保全活動により、各保全地の生物多様性の維持に一定の効果をもたらしています。しかし、近年は気候変動や鹿害の影響が大きく、対応に苦慮しているところです。
- 将来にわたって持続的に保全活動を行う環境づくりとして、地元住民や学校との連携、企業や都市住民などへの働きかけをこれまで以上に積極的に進めていきます。